

平成31年 3月25日

千早赤阪村立中学校
校長 安尾健也 印

学校評議員運用に関する報告書（2・3学期）

※「→」は質問についての回答

月 日	意見を求めた 事項	評議員 氏名	意見の概要	処 理
3月 20日	具体的な教育 内容について の意見聴取	杉本	・学校アンケート（保護者用）において、「・・・適切に評価している。」「・・・評価に関して適切な情報提・・・」という標記があるが、何に対する評価なのかが分かりにくいので項目内容の見直しが必要である。	来年度に 項目につ いて見直 しを図る。
		田中	・少人数指導等も含め、きめ細かな教科指導が実施されている。取組みの中で、一人一人の生徒の学習の成果が少しでも分かるような評価が生徒や保護者にとって、評価として分かりやすくなるのではと思う。	評価周知 方法の検 討
		杉本 田中	・一般的に、生徒たちが、家庭でのスマホなどのネット関係で多くの時間を費やしているように聞いている。宿題や課題等も含めた家庭学習の時間が充分確保されない理由の一つではないだろうか。家庭での時間の使い方について家や学校での指導が必要であろう。	家庭学習 の在り方 の中で検 討
		田中	・靴下の色についての生徒会での取組み等、全てとはいかないが可能な範囲で、生徒会等で生徒自身が話し合い、進めていく自主性を大切にしてもらいたい。	職員に周 知
		杉本	・働き方改革において、地域の協力という視点があるが、本校ではどのような状況ですか。 →部活動への外部指導者の支援というかたちが、南河内地区内においても実施されている学校が若干あるが、予算措置の関係等の課題	職員に周 知

		杉本	<p>もあり、現段階で取り組む予定はない。</p> <p>・スマホの学校への持ち込みについて、大阪府の動きはあるが、本村としてはどのような対応になりますか。</p> <p>→現在、大阪府の携帯電話(スマホ)等に関するガイドラインの素案が各自治体に提示されており、村教委と小中学校で協議を重ねている。正式ガイドラインが示された段階で協議内容を詰めていく予定。最終判断は学校ではあるが、村内小中学校が概ねは方針を統一する方向になる予定。</p>	職員に周知
		田中	<p>・生徒一人一人が安心して学校生活を送れるよう、人権という視点をより大切にしながら学校運営を進めていただきたい。</p>	職員に周知
		杉本	<p>・英語教育の推進が村の教育の柱の一つとなっている。(オーストラリア留学や英検年1回の無償制度など)。会話的な活動のヒアリングやスピーキングに焦点があたっているが、やはり、文法上の読み書きが重要であると思う。そのような学習活動もおろそかにならないように取り組んでいただきたい。</p>	職員に周知

1. 評議員氏名欄には意見を求めた評議員の氏名、または会議の場合は会議と記入する。
2. 意見の概要の欄には、会議の場合、最初に（評議員名）を記入し、その後に意見の概要を記入する。
3. 処理欄には、意見を求めた後の処理（職員会議へ報告、文書で職員へ周知等）を記入する。